

平成21年3月期 第1四半期決算概要

1. 連結決算(20年4月~6月)

(1) 概要 (単位: 億円、倍)

	当四半期	前年同期	増減	増減率	単独決算	連単倍率
売上高	3,771	3,312	459	13.9%	3,352	1.13
営業利益	174	361	△187	△51.6%	130	1.34
経常利益	160	362	△202	△55.8%	116	1.38
第1四半期純利益	164	230	△66	△28.7%	78	2.10
1株当たり四半期純利益	6.21円	8.57円	△2.36円	△27.5%	2.96円	—
有利子負債(注2)	6,227	5,587	640	11.5%	5,395	—

(注1) 連結会社数: 連結子会社57社・持分法適用関連会社4社 (注2) 有利子負債は20年3月期との比較

- ① 売上高は、ガス売上高がガス販売量の増加(6.0%増)および原料費調整制度に基づく料金単価調整等により15.6%増加したことに加え、エネルギーサービス事業等の売上也増加したため、全体では13.9%増加し、3,771億円となりました。
- ② 費用は、経営効率化の一層の推進を図り、費用の抑制に努めたものの、原材料費がガス販売量増およびLNG価格高騰等に伴い増加したこと等により、営業利益は△51.6%減の174億円、経常利益は△55.8%減の160億円となりました。リース会計基準導入等に伴う特別利益を94億円計上したことにより、第1四半期純利益は△28.7%減の164億円となりました。

(2) 事業別の概況 (単位: 億円)

	売上高		増減	増減率	営業利益		増減	増減率
	当四半期	前年同期			当四半期	前年同期		
ガス	2,904	2,511	393	15.6%	291	467	△176	△37.5%
ガス器具	266	261	5	1.7%	7	10	△3	△30.1%
受注工事	97	103	△6	△6.4%	△5	△7	2	—
不動産賃貸	88	87	1	1.4%	25	22	3	15.3%
その他	768	667	101	15.1%	14	13	1	11.5%

(注) 売上高には、事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

2. 東京ガス個別決算(20年4月~6月)

(1) ガス販売量

		当四半期	前年同期	増減	増減率(%)		
お客さま件数		千件	10,141	9,975	166	1.7	
ガス販売量	家庭用	百万m ³	848	839	9	1.1	
	業務用	商業用	百万m ³	443	460	△17	△3.7
		その他用	百万m ³	175	182	△7	△3.8
	工業用	百万m ³	1,422	1,284	138	10.7	
	計	百万m ³	2,040	1,926	114	5.9	
	他事業者向け供給	百万m ³	493	452	41	9.2	
合計	百万m ³	3,381	3,217	164	5.1		
平均気温		℃	18.2	18.9	△0.7	—	

(備考) その他用: 公用・医療用

- ① 家庭用需要は、お客さま件数の増加等により1.1%増加いたしました。
- ② 商業用需要及びその他用需要は、前年同時期に比べて気温が低く推移した影響で空調需要が減少したこと等により、それぞれ△3.7%、△3.8%の減少となりました。
- ③ 工業用需要は、新規需要の開発および既存物件の順調な稼働等により10.7%増加いたしました。
- ④ 他事業者向け供給は、供給先事業者の新規需要の開発等により9.2%増加いたしました。

(2) 収支概要 (単位: 億円)

収益		増減	増減率(%)	費用		増減	増減率(%)		
ガス売上	2,834	377	15.3	営業費	売上原価	1,738	536	44.5	
					販管費	980	26	2.7	
					計	2,718	561	26.0	
その他売上	受注工事	85	△4	△5.1	その他費用	受注工事	89	△5	△5.0
	器具販売他	229	8	3.5		器具販売	210	4	1.9
	附帯事業	203	111	120.1		附帯事業	203	113	124.5
	計	517	114	28.3		計	502	112	28.6
総売上高	3,352	491	17.2	総費用	3,221	673	26.4		
				営業利益	130	△182	△58.2		
営業外収益	42	△1	△2.3	営業外費用	56	24	76.5		
				経常利益	116	△207	△64.1		
特別利益	—	—	—	特別損失	—	—	—		
				第1四半期純利益	78	△130	△62.3		

- ① ガス売上高は、平成20年4月からの料金引下げ改訂による減収影響はあるものの、販売量増(5.1%増)および原料費調整制度に基づく料金単価調整等により、15.3%増の2,834億円となりました。これに受注工事、器具販売、附帯事業の売上を加えた総売上高は、17.2%増の3,352億円となりました。
- ② 費用は、ガス販売量増およびLNG価格高騰等の影響による原材料費増(46.9%増)等により、営業費全体では26.0%増の2,718億円となりました。これに受注工事、器具販売、附帯事業の費用を加えた総費用は26.4%増の3,221億円となりました。
- ③ この結果、営業利益は58.2%減の130億円となり、経常利益は64.1%減の116億円となりました。また、第1四半期純利益は62.3%減の78億円となりました。

(3) 主要計数

	当四半期	前年同期	増減	増減率(%)
原油価格(\$/bbl)	109.69	64.68	45.01	69.6
為替レート(円/\$)	104.56	120.82	△16.26	△13.5
原材料費(億円)	1,674	1,139	535	46.9
支払利息(億円)	21	18	3	15.4
設備投資(億円)	190	169	21	12.2
総資産(億円)	14,403	14,014	389	2.8
その他有価証券評価益(億円)	501	434	67	15.4
有利子負債(億円)	5,395	4,652	743	16.0

(注) 総資産・その他有価証券評価益・有利子負債は前期(20年3月期)との比較

3. 通期(21年3月期)の見通し

前回の業績予想に対して、直近の原油高を反映して通期の原油価格見通しを128.78\$/bbl(7月以降135\$/bbl)に変更いたしました。その結果、連結においては、主に東京ガス個別の業績見通しの修正により、総売上高は900億円増加するものの、経常利益は△910億円、当期純利益は△570億円、それぞれ前回業績予想を下回る見通しです。東京ガス個別の業績見通しについては、ガス売上高がガス販売量増加(0.4%増加)および原料費調整制度に基づく料金単価調整等により870億円増加すること等から、個別の総売上高については1,020億円増加を見込んでおりますが、原油価格見通しを上方修正したことにより原材料費が1,751億円増加すること等から、総費用は1,910億円増加の見込みであります。以上の要因により、個別の経常利益は△910億円、当期純利益は△580億円、それぞれ前回業績予想を下回る見通しです。

なお、本日の取締役会において、自己株式24,000千株の消却決議を行いました。

<連結決算>

(単位: 億円)

	今回通期見通し	対前回増減	増減率(%)	対前年増減	増減率(%)
ガス販売量(百万m ³)	14,527	67	0.5	312	2.2
総売上高	18,020	900	5.3	3,146	21.1
ガス売上高	13,399	887	7.1	2,529	23.3
その他売上高	4,621	13	0.3	617	15.4
営業利益	△170	△920	—	△870	—
経常利益	△230	△910	—	△898	—
当期純利益	△70	△570	—	△494	—

<個別決算>

(単位: 億円)

	今回通期見通し	対前回増減	増減率(%)	対前年増減	増減率(%)
ガス販売量(百万m ³)	14,133	63	0.4	80	0.6
総売上高	15,480	1,020	7.1	2,800	22.1
ガス売上高	13,050	870	7.1	2,392	22.4
その他売上高	2,430	150	6.6	408	20.2
営業利益	△370	△890	—	△798	—
経常利益	△390	△910	—	△833	—
当期純利益	△220	△580	—	△519	—

<前提となる経済フレーム>

	今回通期見通し	対前回増減	増減率(%)	対前年増減	増減率(%)
原油価格(\$/bbl)	128.78	33.78	35.6	50.07	63.6
為替レート(円/\$)	104.89	△0.11	△0.1	△9.55	△8.3

(注) 原油価格: 前年実績78.71\$/bbl、前回見通し95\$/bbl